

高岡ALC50周年記念会「高岡ホームカミングデー」

オンラインなんて言葉を、知らなかった時代。  
新しいものに挑戦するのは、ワクワクしたね!

昨年9月、操業開始から50周年を迎えた高岡工場。それを機に同窓会を開いたのが、オンライン工程管理システム「ALC（アッセンブリー・ライン・コントロール）」の開発・運営に携わった電算部・高岡工務部とIBM社の皆さん。同窓会当日は「ALCの変遷と現状」の説明を受け、高岡工場を見学した後、会場を移して懇親会を開催しました。今回は懇親会の開催前に電算・工務の各部代表5名に集まっていたいただき、当時の苦労話などをお聞きました。



すぎうら みきお 杉浦 幹雄さん(81歳) たかぎ しげゆき 高木 茂之さん(78歳) ちはら きよたか 千原 清孝さん(75歳) かわもと やすし 川本 靖さん(79歳) ひらやま つとむ 平山 力さん(74歳)

オンライン生産をスタート  
命綱のコンピューターは1台のみ!

杉浦「高岡工場ができるまで、高岡工場建設委員会から『最新鋭の設備を導入する予定だが、それをコントロールできるシステムがない。管理する何かいい方法はないか』と言われてね、提案したのがオンライン。すぐに『これは良さそうだけど、やれやれ』と許可が下りたのはいいけれど、とにかく日がない。本来なら1年から2年かけてシステムを立ち上げるところを半年でやったんだから滅茶苦茶だったね(笑)」

川本「私がプロジェクトチームに入ったのは、昭和41年の3月くらいだったかな。オンラインを使って車を生産すると聞いて素晴らしいことがスタートするんだなと思ったけれど、当時、オンラインで何ができるかなんてよくわかっていなかった(笑)」

平山「上の人もやれやれとは言うけれど、そもそも、コンピューターのことなんて、わかっていない人が多かった時代だからね(笑)」

高木「それでも当時、失敗してでもまずはやってみろという風潮が社内にはあって、とにかく先に進むうとしていた。今さらながらいい時代だったね」

千原「しかしALCの立ち上げに導入してもらえたコンピューターが1台だけだったのには困ったね。新たなシステムを開発したくても、通常の時間はコンピューターをラインで使っているから、休みの日や夜にやるしかない(笑)」

杉浦「だいたい、バックアップ用のコンピューターを持たずにオンラインを導入するなんて、本来はあり得ないからね。」

千原「電算機の保守の時間がないので、その後なんとか3カ月でバックアップ用コンピューターを入れてもらいましたね」

もっと速く生産できないのか!?  
無理な要求にも、がむしゃらに答えて

杉浦「道路工事の業者が、オンラインの通信ケーブルをショベルカーで切ってしまったこともあったよ」



高岡工場を見学をした後、懇親会を西浦温泉で開催。写真は、懇親会に参加されたOB333名と高岡工場見学まで参加された3名。

千原「それで、ラインが2時間くらい止まってしまった」  
杉浦「その後、現場に謝りに行ったら『たまには掃除もできていいよ』なんて言われてね(笑)」

平山「とにかく忙しい時代だったからね。残業や休日出勤は当たり前だったけれど、皆頑張っていたなあ」

川本「新しいことに挑戦できるのはワクワクしたし、若かったからね(笑)」

高木「何がなんでも、ついていこう、挑戦しようというガッツが当時はあったね。それにチームワークも良かったよ」

杉浦「当時、カローラは売れに売れていたからね。全国の販売店から工場まで担当者が来て、出来上がるのを待っているほどだった。それを見た大野さん※1が、コントロール室まで来てね、タクト※2をもっと早くしろと言ってね、スピードを調節するダイヤルをぐっと回すんだよ(笑)」

川本「そうそう!でも、タクトを少しでも早くすると、現場の人はすぐわかる。そうすると『早いじゃないか!』って怒って電話がかかってきた(笑)」

平山「無理もたくさんあったけれど、試行錯誤しながら改善を繰り返して、工場全体でレベルアップした時代だったね」

情熱が生んだ、新たな技術  
「ALC」は世界でも通用する言葉に

高木「もう50年も経つけれど、杉浦さんがオンラインを導入しようとした情熱は忘れられないね」

千原「確かにそうだね。でも、その提案がなければ皆のあの苦労もなかったけれどね(笑)」

一同「その通りだ!(笑)」

杉浦「『ALC』という言葉は、今では世界でも使われているからね。それは嬉しいね」

高木「今日も工場を見学したけれど、我々のつくり上げたことが、しっかり受け継がれていたからね」

川本「でも、こうして同じ釜の飯を食った仲間と、集まることができて本当によかった」

平山「30周年、40周年と10年ごとに集まったけれど、50周年までできるなんてね(笑)。面倒を見てくれる幹事がいるのはありがたいね」

千原「この先も健康で過ごして、またこうして集まると良いですね」

高木「本当にそうですね!でもそれより早く、この後の懇親会で久々に皆で盛り上がりたいたいなあ(笑)」

※1: 大野耐一氏(トヨタ自動車工業元副社長)  
※2: タクトタイム(組立ラインのコンベアスピード)



高岡工場の完成を報じる当時の「トヨタ新聞」。高岡工場は、新たな生産管理方式を導入した工場として注目されました。